

# モーツァルト室内管弦楽団 第174 回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester/ 174.Regulärkonzert

## 〈ニューイヤール・モーツァルト名曲集〉

2017年1月29日(日)午後2時 ■いずみホール

Sonntag, 29. Januar, 2017 14Uhr Izumi Hall Osaka

■主催: NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>

■特別協賛:  株式会社高松コンストラクショングループ

■協賛: いずみホール〔一般財団法人 住友生命福祉文化財団〕

■マネジメント: 大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504

本年1月モーツァルト室内管弦楽団はNPO法人となりました。



## モーツァルト室内管弦楽団 第174回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester / 174.Regulärkonzert

2017年1月29日(日)午後2時●いずみホール  
Sonntag, 29. Januar, 2017 14Uhr Izumi Hall Osaka

### 〈ニューイヤー・モーツァルト名曲集〉

#### モーツァルト

Wolfgang Amadeus Mozart  
(1756-1791)

歌劇《ドン・ジョヴァンニ》K.527 序曲  
Ouverture zur Oper „Don Giovanni“ KV527  
Andante — Molto Allegro

クラリネット協奏曲 イ長調 K.622\*  
Konzert A-dur für Klarinette und Orchester KV622\*

- I. Allegro
- II. Adagio
- III. Allegro

\* \* \*

交響曲 第39番 変ホ長調 K.543  
Sinfonie Nr.39 Es-dur KV543

- I. Adagio — Allegro
- II. Andante con moto
- III. Menuetto: Allegretto
- IV. Finale: Allegro

クラリネット独奏：鈴木 豊人\* / Klarinetten-Solo: Toyohito Suzuki\*  
コンサートマスター：釋 伸司 / Konzertmeister: Shinji Shaku  
指揮：門 良一 / Dirigent: Ryoichi Kado

## Profile



### 鈴木豊人●クラリネット *Toyohito Suzuki, Klarinette*

桐朋学園大学卒業。その後、ドイツ国立ケルン音楽大学に学ぶ。故喜田賦、故北爪利世、故F.クラインの各氏に師事。1976年から86年までドイツ・キール市立フィルハーモニーオーケストラにて首席クラリネット奏者として活躍し、同市より「音楽学士」の称号を授与される。帰国後は、ソリストとして国内外で演奏活動を展開する他、2005年まで「サイトウ・キネン・オーケストラ」のメンバーとして活躍する。現在、後進の指導にあたる傍ら、「紀尾井シンフォニエッタ東京」、「アンサンブル・ベガ」のメンバーとして全国各地で演奏活動を行っている。超絶技巧から繊細かつ甘い音色には定評がある関西を代表するクラリネット奏者の一人である。

## ■歌劇《ドン・ジョヴァンニ》K.527 序曲

モーツァルトのオペラの名曲は、《フィガロの結婚》、《ドン・ジョヴァンニ》、《コジ・ファン・トゥッテ》、《魔笛》が「4大オペラ」とされたり、そのうち《魔笛》を除いた3曲がいずれもダ・ポンテという作家の台本によるものなので「ダ・ポンテ3部作」と言われることもあり、また最初の4曲に《イドメネオ》と《後宮よりの誘拐》を加えて「6大オペラ」ということもある。《フィガロの結婚》は1786年にウィーンで初演された後、同年の末ブラハで初演され大人気を博すのであるが、その結果モーツァルトは翌年初めにブラハに招待され、オペラの指揮をとるほか、新作の交響曲（第38番《ブラハ》）も演奏した。その上ブラハの劇場からオペラの新作の作曲を依頼される。そのような事情で生まれたのが《ドン・ジョヴァンニ、または罰せられた放蕩者》である。台本作者ダ・ポンテはオペラの題材に困って、その年（1787年）の2月にヴェネツィアで初演されたばかりのペルターティ台本、ガッツァーニガ作曲の《ドン・ジョヴァンニ、または石の客》の筋書きを拝借し、登場人物を整理したり名前を変えたりして台本を仕上げモーツァルトに提供した。オペラの完成後、拝借された方の台本作者と作曲家は大変な怒りを表明したと言われ、現代なら盗作容疑で裁判沙汰となること必至の不祥事である。しかし現代、《ドン・ジョヴァンニ》の名で上演されるのはモーツァルトの作品であって、ガッツァーニガのものはモーツァルトの「原作」としてのみ知られるにとどまっている。オペラ・ブッファ（喜劇的なオペラ）としては異例の主人公が悪役で「悪者は地獄に落ちる」という勧善懲悪劇であるが、モーツァルトの描くドン・ジョヴァンニの存在感が極めて大きい異色のオペラになっている。序曲は、主人公の地獄落ちを暗示する暗く重い序奏で始まるが、主部は一転して明るく軽快な音楽である。原曲は終始せずそのままオペラの開幕につながっているのだが、作曲者自身による演奏会用終結部があり、本日はそれが演奏される。

## ■クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

クラリネットは18世紀初めに登場した全く新しい管楽器である。古くからあるオーボエやファゴットといったダブル・リードの楽器と違ってシングル・リードで発音する楽器で18世紀中にはなかなか普及せず、モーツァルトはパリ、ロンドン、ミュンヘン、ウィーンといった大都市に出向いた時にだけこの楽器を使うことができた。クラリネットの特徴としては、音域が広いこと、どの音域でも強弱平等の音量が出せること（オーボエ、ファゴットは低音域で弱奏ができにくい）、高音域では明るく輝かしい音（クラリネットという名前はトランペットの古称であるクラリーノから来ている）、中高音域ではよく通るなめらかな音、中低音域では少し曇った柔らかな音、低音域では暗めの力強い音、と各音域でそれぞれ特徴的な音色を持っていることが挙げられる。モーツァルトは後半生のウィーン時代、この楽器の名手であったアントン・シュタードラーと親しくなり、その影響でこの楽器を使いこなしていった。クラリネット協奏曲は、モーツァルトが最晩年の《魔笛》、《皇帝ティトゥスの慈悲》、《レクイエム》といった大作の作曲の間を縫ってシュタードラーのために書いた、この楽器のための古今無双の大傑作である。上述のクラリネットの特徴を完全に生かききっており、傑作ぞろいのピアノ協奏曲よりやや長めで、内容はそれらに勝るとも劣らない大協奏曲である。というより、哀愁感に富み複雑繊細なモーツァルトの心象風景を最も忠実に表現できるのがクラリネットにほかならず、晩年の彼は安心してこの楽器にのめり込んで行ったのであろう。なお、この曲には協奏曲に必ずあるカデンツァ（各楽章の終わり近くにあるソロ楽器の技巧を披露する無伴奏の部分）がない。

## ■交響曲 第39番 変ホ長調 K.543

ハイドンとモーツァルトは24歳と、日本流に言えばふた回りで親子ほども歳が違っているのだが（因みにモーツァルトの父親レオポルトはハイドンより13歳歳上）、互いに深く尊敬しあい影響し合うという、同時代のライバル作曲家としては異例の間柄であった。モーツァルトは弦楽四重奏曲と交響曲の分野でハイドンの影響を強く受けている。「ハイドン・セット」と呼ばれる6曲からなる弦楽四重奏曲集の出版の際、モーツァルトは「自分が弦楽四重奏曲の作り方を教わったのはハイドンからだ」と明白にその献呈文の中に書いている。交響曲においてはモーツァルトのそのような表明はないのだが、明らかにハイドンの影響下に書かれたと思われる作品がある。交響曲第36番《リンツ》と、本日その第1曲が演奏される《3大交響曲》がそれである。ハイドンはパリのオーケストラから注文を受け6曲からなる《パリ交響曲》を1785～86年に作曲するのだが、その6曲のうちのはじめの3曲の調性は第82番《熊》がハ長調、第83番《めんどり》がト短調、第84番が変ホ長調であって、1788年に作曲されたモーツァルトの《3大交響曲》の第39番変ホ長調、第40番ト短調、第41番《ジュピター》ハ長調という調性と、順序が逆転しているだけで完全に一致している。これは偶然ではありえず、モーツァルトは明らかにハイドンの《パリ交響曲》（のはじめの3曲）に刺激されて交響曲を3曲セットにして書いたのである。ハイドンの刺激を受けたといってもそこはモーツァルトのこと、ひそやかな半音階、遠隔調への巧妙な転調、そしてクライマックスの頂点における減七和音（4つの音の隣り合う間隔がすべて短3度となっている不協和音の一種）の使用など、彼独特の技法を駆使してモデルとなったハイドンとは一見似ても似つかぬ作品を生み出している。だが、本日演奏される第39番は、上に挙げた《リンツ交響曲》と同様、最もハイドンのスタイルに近いと思われる。上述の半音階や転調、減七和音といった「あぶない」要素はあるものの、音楽の進む方向が総じて建設的で明るく健康的なのである。それだけにそういった「あぶない」ところもより一層魅力的に聴こえるというものであろう。この交響曲における最も「あぶない」ところは第2楽章の途中に2度ほど現れる嵐のように思える部分である。そこでは非常にきわどい転調が連続的に行われており、主として第1ヴァイオリンがそのような転調による困難な音程を弾かなければならない。この部分があるためにこの交響曲の演奏頻度が少ないのであろうと思われるくらいである。しかし、演奏が上質のものであるならば、ほとんどの人はそのような部分を聴いて「あぶない」などとは露ほども感じず、ただ「きれいな音楽だなあ」と思うだけであろう。それこそがプロフェッショナル作曲家モーツァルトの高度にして巧妙な技なのである。

第39番で特筆すべきことは、クラリネットの重用である。この交響曲では当時のオーケストラの中心的楽器であるオーボエが使われておらず、クラリネットがその代わりを勤めている。このことは当時においては破天荒なことであって、上記の「クラリネット協奏曲」のところで述べたように、クラリネットを知り尽くしたモーツァルトでなければ絶対にできない革新的な用法である。モーツァルトはピアノ協奏曲においてもクラリネットを主役に抜擢している（第22番K.482、第23番K.488）。この交響曲においてクラリネットの特徴が最も生かされているのは第3楽章メヌエットのトリオ（中間部）であろう（1番クラリネットの流麗なメロディもすばらしいが、その裏で特徴的な分散和音を奏する2番クラリネットにもご注目ありたい）。

東証一部上場 (証券コード:1762)



# 株式会社 高松コンストラクショングループ (持株会社)

## 高松建設 株式会社

阪神・淡路大震災の揺れに耐えた建築基準法の15%アップの耐震性を標準設計。  
賃貸マンション・ビル・工場から高齢者施設まで、あらゆる建設工事の設計施工

### やまと建設 株式会社 (大阪)

近畿圏における増築・改築・改修から建物の維持管理・メンテナンス

### 株式会社 日本建商 (大阪)

近畿圏における不動産全般、ビル・マンション管理

### やまと建設 株式会社 (東京)

首都圏における増築・改築・改修から建物の維持管理・メンテナンス

### 株式会社 日本建商 (東京)

首都圏における不動産全般、ビル・マンション管理

### 株式会社 住之江工芸

ハイグレード・ハイクオリティーの造付家具から、  
住宅・商業施設の増改築・インテリアリフォームの設計施工

### JPホーム 株式会社

耐震性・耐火性・耐風性・遮音性等を誇る他に例を見ない  
耐久性に富んだ鉄筋コンクリート造の戸建住宅

### 株式会社 金剛組

創業より1400年以上の歴史。宮大工の匠の技を伝承する  
伝統技術と近代技術を融合させた神社仏閣建築

### 株式会社 中村社寺

創業より1000年以上の歴史。中部圏地盤の神社仏閣建築

東証一部上場 (証券コード:1865)

## 青木あすなろ建設 株式会社

ダム・トンネル・橋梁などの大型土木工事・無人化土木工事、  
商業施設・超高層ビル・分譲マンションの設計施工

### あすなろ道路 株式会社

道を美装する舗装工事・道路造り

### 青木マリーン 株式会社

関西空港・中部空港等大型海上埋立工事のエキスパート。  
浚渫・埋立・造成・港湾・河川に関する土木構造物の設計施工

### 東興ジオテック 株式会社

斜面保護、地盤改良、地中連続壁、保温保冷、耐水工事及び  
ダム・道路等の岩盤発破・破砕工事

### みらい建設工業 株式会社

港湾・海上工事・環境保全関連工事、生活・文化・ビジネス関連  
施設等の設計施工

### 株式会社 エムズ

オフィスビル全般の改修・リニューアル、  
保全維持・用途変更等のリノベーション工事

### 新潟みらい建設 株式会社

土木工事、舗装工事、アスファルト混合物の製造・販売

### 株式会社 島田組

埋蔵文化財の発掘調査、分析、保存移築及び史跡整備

### 日本オーナーズクレジット 株式会社

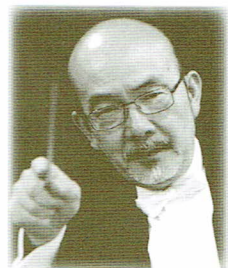
建築工事に関わる融資事業



# Profile

## 門 良一 ● 指揮 Ryoichi Kado, Dirigent

1939年大阪生まれ。1962年京都大学理学部物理学科卒業、67年同大学院終了。京都大学オーケストラには学部、大学院を通じて10年間在籍し、フルート奏者、指揮者を務め、同オーケストラの発展に多大な貢献をする。また、客演指揮者の故近衛秀麿、故朝比奈隆、故岩城宏之、故若杉 弘、故奥田道昭、秋山和慶各氏等のもとで副指揮者を務め、薫陶を受ける。70年モーツァルト室内管弦楽団を創立、常任指揮者となり、同楽団を日本有数のプロ室内オーケストラに育て上げた。モーツァルト、ハイドン等の古典派の作品を35人の室内オーケストラで優雅に繊細に演奏する独自のスタイルを確立している。企画力にも優れ、モーツァルトの「予約演奏会の再現」やオペラ《イドメネオ》の世界初ノーカット上演などの大きな企画を成功させている。また、世界的名手との協演も多く、ピアノのマリア=ジョアオ・ピリス、シブリアン・カツァリス、ヴァイオリンのライナー・キュッヒル、ホルンのペーター・ダム等との協演においてはソリストの絶大な信頼を得て大成功を収めている。近年は古典派だけでなく前期ロマン派やフランス音楽においても、企画、演奏両面で注目すべき成果を上げている。アマチュアの指導にも熱意を持ち、京都産業大学神山交響楽団の音楽監督・常任指揮者を創立時より務めている。モーツァルト研究者として知られ、1982～2011年NHK大阪文化センター、1992～2011年同神戸文化センターにおいて「モーツァルトを聴く」の講師を務める。京都産業大学名誉教授。



## ● NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 Mozart-Kammerorchester Japan

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。本年1月NPO法人となる。

《メンバー》	コンサートマスター	釋 伸司						
第1ヴァイオリン	釋 伸司	本多 智子	稲庭真理子	北村 奈美	松本 紗希	森住 憲一	菊池 優理	
第2ヴァイオリン	中川 敦史	黒江 郁子	田原口安代	徳田 雅子	幣 晴代	清水めぐみ		
ヴィオラ	道幸 明美	佐份利祐子	三上 哲	白木原有子				
チェロ	石 豊久	野田 祐子	境 綾子	角南麻里子				
コントラバス	南出 信一	北田 由美						
フルート	大江 浩志	本庄ちひろ	オーボエ	中江 暁子	大森 美希			
クラリネット	高橋 博	門 小夜子	ファゴット	佐伯 利之	羽生 尚代			
ホルン	佐藤 明美	垣本奈緒子	トランペット	大西 由起	中島 真			
ティンパニ	泉 純太郎							
インスペクター	中川 敦史		ライブラリアン	本多 智子				


www.kincho.co.jp

温感香料で温まる 香る

# とんと

貼れる うす型フィット!



ほかほか



ほのかな香り

